

大垣市

農業委員会だより

第13号

平成30年8月1日発行

編集/発行 大垣市農業委員会
(大垣市丸の内2丁目29番地)
☎ 0584-81-4111(内線532)
☎ 0584-47-8614(直通)
Fax 0584-81-4899

ごあいさつ

大垣市農業委員会

副会長 高橋

滋



皆様方には、日頃より農業委員会活動の推進にあたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年の農業を取り巻く環境は、人口減少社会が到来する中、農業の担い手の減少と高齢化、耕作放棄地の増大や農作物価格の低迷など課題が山積しております。

これらを踏まえ、「農業委員会等に関する法律」が大きく見直され、農業委員会は新たな業務、活動をスタートさせるとともに、課題解決に向け「農地等の利用の最適化の推進」を業務の重点とすることとなっております。

その具体的な活動の一つとして、

今年度「人・農地プラン」の作成・見直しに取り組んでおり、「地域における農業者等による協議の場」を通じて、農業者の意思と地域の資源に照らした、地域ごとの人と農地の問題解決に向けた実効性のあるプランを策定することが重要と考えております。

また、8月から9月にかけて農地パトロールを実施し、遊休農地及び遊休化のおそれがある農地を把握し、農業者の意向を踏まえて貸付やあつせんなど、農地の利用調整と有効活用を図ってまいります。

大垣市は今年、市制100周年を迎え、様々な記念事業が行われております。その一環として、休耕田の有

効活用と地域活性化を目的とし、夏の風物詩としてすっかり定着した「ひまわり畑」が、平町地内で盛大に開催されます。見頃は、8月中旬から9月初旬です。皆様と一緒に市制100周年を盛り上げていきましょう。

終わりに、今後とも、当農業委員会の各業務に変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。ごあいさつといたします。



多良地区の紹介

大垣市農業委員

日比育緒



上石津の多良地区は周りを養老山脈と鈴鹿山脈に囲まれた盆地(多良盆地)です。昔からこの地区は田畑が少なく、山の奥まで開墾してお米の増産に励んできた足跡が多く見受けられます。現在はどの地域も基盤整備がほぼ成され、大型機械の導入で作業の効率化が進んでいます。

しかし、地区全体の農業の現状は厳しく、上石津地域のほとんどが小規模の兼業農家で、農業従事者の多くは団塊の世代以上の者ばかりです。そのため、高齢化に伴う離農により、不耕作地が多くなりつつあります。また、農地の多くは中山間地区にあり、傾斜のきつい畦畔の草刈りや一部の地区ではため池の水路の整備、配水の管理があり、山間部でのイノシシ、シカ、サルによる獣害の被害も以前より増えていると

いった悪条件が、若い世代の後継者不足に拍車をかけています。

そうした状況の中、小規模ながら特色ある栽培で、収量はやや少なくなりますが、付加価値の高い米作りを目指しているグループが増えつつあります。また、最近では何としても耕作放棄地をなくそうと担い手への農地集積・集約化が進められています。自然豊かな上石津を生かし、「美味しいお米のふるさと」として魅力ある農業を進め、農業所得の向上につなげていけるよう取り組んでいかなければと思います。

多良地区はまだまだ多くの課題を抱えています。地域の特性を十分理解して柔軟に対応していくつもりです。農業委員としてまだまだ未熟者ですが皆様のご理解とご協力をお願いします。

川並地区の紹介

大垣市農地利用最適化推進委員

川合義晴



川並地区は大垣市の東部、揖斐川と中之江川、水門川にはさまれた南北に細長い地区です。

現在、川並地区の水田は、約250haあり、営農組織が637ha、担い手営農者(9名)が607ha、個人農家(420名)が1017haを耕作しており、全体の10%にあたる25haが休耕田を含む遊休農地となっています。

一部の幹線道路沿いの市街化区域を除き、大部分が市街化調整区域であるため、他の地域と同様に農業者の高齢化、後継者不足が深刻な問題となつています。そのため、小規模経営の個人農家も多く残っていますが、担い手営農者や、集落営農組織、川並地区外の農業法人への農地集積が進んでいます。

特に今年度は、「人・農地プラン」の組織作りと見直しにつ

いて取り組んでいます。地域における人と農地の問題を解決するため、新しく作成される「人・農地プラン」に基づき、農業委員や関係の皆様と連携して、個人作付地の担い手への集積・集約化を行い、遊休農地の減少につなげていきたいと思えます。また、将来の農業の担い手の育成と支援についてもあわせて推し進めていく活動をしていきたいと思っております。どうか地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願ひします。



県農業会議の役員改選

6月14日、県農業会議通常総会の役員改選で、大垣市農業委員会の岩井豊太郎会長が県農業会議の新会長に選ばれました。任期は2年間で、「新・ぎふ農業委員会活性化大作戦」の推進を図り、大垣市だけでなく、県下全域の農業振興に取り組まれます。



人・農地プラン

人・農地プランとは、人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」です。

☆集落・地域が抱える「人と農地の問題解決」のため、集落・地域において話し合ってもらい、次のことを決めます。

〈地域における話し合い〉

- ◎今後の中心となる経営体（個人、法人、集落営農）はどこか
- ◎地域の担い手は十分確保されているか
- ◎将来の農地利用のあり方
- ◎農地中間管理機構の活用方針
- ◎近い将来の農地の出し手の状況（いつ頃、どのくらい出す意向か）
- ◎中心となる経営体とそれ以外の農業者（兼業農家、自給的農家）の役割分担を踏まえた地域農業のあり方（生產品目、経営の複合化、6次産業化）



今年度、大垣市では、「人・農地プラン」の作成（見直し）を推奨しています。

農業委員会でも、「新・ぎふ農業委員会活性化大作戦」により、「人・農地プラン」の積極的な取り組みを推進しています。

皆様の地域においても、取り組みが進められていますので、地域における話し合いへ積極的に参加していただき、農業に関する問題を解決していきましょう。

「人・農地プラン」に関心のある方は、地元の農業委員・農地利用最適化推進委員またはJA各支店にお問い合わせください。

農地パトロールを実施します

農業委員会では、優良農地の確保と有効活用の促進を図っていくため、耕作放棄地の実態把握と防止、違反転用防止を目的として、毎年、8月から9月にかけて、農地パトロール(農地の利用状況調査)を実施しています。

このため、農地パトロール実施の際には、各農地へ立ち入ることやお話を伺うこともありますので、土地の所有者の方には、ご理解、ご協力をお願いします。

耕作放棄地は、ゴミの不法投棄や病害虫の発生の原因になるなど、周辺地域の営農環境や生活環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。農地を所有している方は、営農を再開したり、適宜草刈りを行うなど、農地の適正管理をお願いします。



農地の利用でお困りの方は、ご相談ください。

自ら耕作できないなど、農地の利用でお困りの方は、農地が遊休化する前に、地元の農業委員・農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局にご相談ください。



老後の備えは
万全ですか？

\\ メリットいっぱい! \\ 国が支える担い手積立年金

農業者年金 に加入しよう!

加入要件

60歳
未満

国民年金
第1号
被保険者

年間
60日以上
農業従事

3つの要件を満たせば
どなたも加入できます!

※有利な国民年金の付加年金も併せて加入ください



【お問い合わせ・申込み 大垣市農業委員会・JA または 岐阜県農業会議 ☎058-268-2527】

みんなで築こう 人権の世紀 ~ 考えよう相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心 ~